

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

敬称略

建都四百年を祝う夏のイベント前夜祭に足を運びました。千秋公園内の三つの会場で伝統芸能や祭りの演技を見てムードを満喫。日中の暑さを吹き飛ばすように、クライマックスの花火が観客を魅了。秋田市の新しい一步を踏み出した楽しいひとときでした。粕木武男 78歳・泉)

建都四百年記念行事の前夜祭に参加してきました。郷土芸能が盛りだくさんで大盛況。人も七万人とのこと。ほんとうにぎやかなお祭りでした。終わりに四百発の打ち上げ花火が四百年の夏の夜空を華やかにしてくれました。(松村隆 72歳・千秋)

建都四百年記念式典で、アルヴェに行ってきました。子どもたちの元気なステージでの踊り、土崎港ばやし、新秋田音頭など元気いっぱい、楽しさいっぱいのステージでした。土谷猛 68歳・飯島)

帰省した姉家族と十年ぶりで土崎の港まつりに行ってきました。すごい迫力で小さい

姪っこたちは怖がって大変でした。竿燈、雄物川の火花と祭りが続くので楽しみです。(長谷部直子 31歳・山王)

暑い暑い毎日、涼風を求めて滝めぐり。緑豊かなこの季節、先般、鳥海町の法体の滝を訪ね、心地よい自然の涼風を浴びてきました。美しいブナ林に囲まれた豪快な滝、鳥海山の雪解け水を集め、瀑音をとどろかせくだったてゆく姿に感動しました。すそにはキャンプや水遊びを楽しむ子どもたちの姿が、夏の彩りを映し出していました。(臼木武二 68歳・御所野)

能代に住んでいるパパとママのところへ送って行く途中、チャイルドシート席に乗っていた二歳八か月の孫のゆづか。前方をじつと見つめて「信号、赤、じいちゃん止まってね」と言った。かたことしかしゃべれなかったゆづかがこんな事を話せるようになったのかと、思わずじいちゃんも私も「無事に送って行くから安心してね」と言った。

地域の話 おしえて!!

土崎空襲犠牲者追悼 平和祈念式典 いつまでも語り継いでいくこと

「あたり一帯がまるで真昼のようになった」...終戦前日の昭和20年8月14日夜、土崎のまちを襲った激しい攻撃は、異様に明るい照明弾が始まりでした一。

あれから59年、今年も土崎空襲の犠牲となったかたがたの追悼と平和を祈念する式典が、8月14日、セリオンで行われました。

式典では、土崎港被爆市民会議会長の越中谷太郎さんが、空襲当時の緊迫した、生々しい様子を語

り、土崎空襲、戦争の悲惨さを語り継ぐことの大切さを伝えました。

「子どもたちからの平和のメッセージ発表会」では、13人の小・中学生が土崎空襲、戦争、平和などをテーマに1人ずつメッセージを朗読。「なぜ、戦争を考えたのか」「勝った方も負けた方もどっちも悲しい」「人間のすばらしい知恵が平和のために使われますように」...平和を願う子どもたちのメッセージ、私たち大人がしっかりと受け止め



来年は60周年を迎える

ていかなくってはなりません。



空襲の話に耳を傾ける子どもたち



おしゃべりかわらばん



キャンプでワクワク

僕は、テントで寝るのが楽しみでした。まき割りには疲れたけど楽しかった！(大樹)

私はキャンプファイヤーが楽しかった。火の周りで踊ったり、トーチに火を付けた。冬のまんたらめもりーにも来たいな(ひとみ)

夏のまんたらめもりー・キャンプに参加した渡部ひとみさん、大樹くん(広面)

竿燈の迫力に大満足!

姉妹校の中通小学校との交流で初めて秋田に来ました。秋田のまちは、茨城県の水戸みたいです。竿燈は頭の上にちょうちんが倒れてきそうで怖かったけど、近くで見るととても迫力があって気に入りました。



常陸太田市立佐竹小学校6年の竹越彩奈さん(左)、武藤加奈江さん

あんなに深いとは...

お堀の下の工事現場に降りていくときの階段がとても長くて、少しだけ怖かった。でも、あんな深いところで工事してるなんてスゴイなあ。トンネルができたなら、また見に来て、通ってみたいな。



秋田中央道路現場見学会に参加した遠藤寛登くん(勝平小2年)

戦争は悲しいこと

土崎空襲のビデオを見て、はじめて土崎に空襲があったことがわかりました。戦争はほんとうに悲しいこと。「誰とでもなかよく」「よく話し合う」「暴力を使わない」...そうすれば戦争がなくなるんじゃないかな。



「子どもたちからの平和のメッセージ発表会」で発表した小山田幸介くん(港北小6年)

ふるさとの遺産に驚き

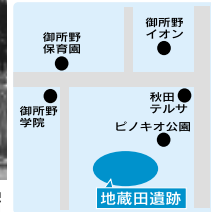
生まれ故郷の秋田に里帰りして、幼なじみと一緒に市内のお寺巡り。天徳寺の寺宝を見るのは初めてで、本堂に展示された源氏物語の屏風は圧巻でした。佐竹家12代藩主の肖像画がすべてのこっているのも驚きですね。



天徳寺の寺宝公開の見学に来た石田文子さん(東京都大田区)



組立中の竪穴住居



市では、現在、御所野総合公園内にある地蔵田遺跡で、市民参加により弥生時代の竪穴住居を組立中です。見学、参加大歓迎！ 問い合わせは文化振興室tel(866)2246

これからも信号を守って事故のないように安全運転しなければと思います(安田満子 62歳・外旭川)

市内はひと月も歩かないでいると、どんどん様変わりします。退職した今は、努めて「アッシー」に徹して、車で走り回るようにしています。これも市が発展している証なのでしょう(舟木秋雄 62歳・広面)

高校生活初めての夏休み。部活も遊びもがんばるぞ！勉強も少しはしないと...と思っています(阿部優万 16歳・寺内)

係からひとこと

広報課テレビ担当になって四年。日夜、市民のみなさんの頑張っている姿や市の行事などを伝えるため、取材に飛び回っています。

私の目印は額に巻いた水色のタオル。一見、工事現場で働く人に見えるかもしれませんが、重さ約10キロのカメラを肩に担いでの撮影はまさに体力勝負。映像がぶれないように、「呼吸をぐくぐ」と止めた瞬間、額からどろ」と噴き出す汗。私にとつて額のタオルは、汗が目に入るのを防ぐための必需品なのです。

これからも、額にタオルをまいて取材する失礼をお許しください。みなさんの心に残るテレビ番組づくりをお約束しますので...。(渡邊)

広報クイズ



旭南の草市

7月23日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「メダカ」、問2が「風」でした。

全問正解132通(応募総数145通)の中から、浅野良夫さん(飯島緑丘町)、串田克子さん(寺内蛭根一丁目)、佐藤サトさん(外旭川字家ノ前)、進藤キサ子さん(土崎港中央四丁目)、鈴木裕美さん(牛島東七丁目)、須田恵子さん(横森二丁目)、田中絢子さん(大町一丁目)、土谷種子さん(飯島字田尻堰越)、宮嶋千恵さん(土崎港中央二丁目)、若山良子さん(土崎港相染町字沼端)の10人のかたに図書券をお送りします。

8月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)